

第3部 プロジェクト学習の概要

第1章 今年度のプロジェクト学習の概要

本プロジェクトは開校の理念である「社会参画型学力」の育成を図るために行っている。そのため、生徒自身が、協働して、考え、実行して振り返り、社会参画への手応えをつかめるよう生徒たちの手で組織する事を念頭に置いている（第1部「研究の概要、安居中学校のすがた」参照）。

今年度は、プロジェクト学習をよりよくしていくために2つのことを変えていった。

1つ目は、「Winter Project」の確立。本校は、1年間を大きく2つのプロジェクトに分けて組織してきた。1つ目が5月～9月までを1つのスパンとした「Summer Project」。そして2つ目が9月～12月をスパンとした「Autumn Project」である。さらに今年度は、1年間の活動のまとめの期間として「Winter Project」を設けた。「Winter Project」における活動の内容は、昨年度と大きく変わってはいない。しかし、次年度へつなげることを意識して生徒たち中心となり活動に取り組むのはもちろん、活動が終わった後の振り返り、すなわち省察に対する意識を高めて行った。

年間を通して、総合的な学習の時間、特別活動、道徳を関連させ、生徒主体で探究的なロングスパンのプロジェクト学習を行った。見通しをもって活動に取り組むことができるよう、特別活動、総合、道徳の包括的な年間計画の作成を今年も行った（図1）。

この表を使用することで、生徒が自分たちのプロジェクト学習を実践していく過程（プロセス）において、教師が生徒に獲得させたい価値項目を明確にして道徳等の授業を行うことができる。また、教科書だけでなく、その活動における課題そのものが、道徳の課題になることも考えられる。

2つ目は、各学年のプロジェクト学習を1つにまとめた一覧表の作成である（図2）。図2のように年間計画に写真と生徒が学んだ内容を記して作成した。そうすることで、生徒も教師も地域の人も安居中学校の1年間の流れを理解しやすい。さらに1年間の過程を振り返ることで、生徒や教員は次の年度への目標を立てやすくなる。地域の方々に配ることで、より安居中学校について知ってもらい、学校の活動にも参加していただけるのではないかと考えている。

（文責 川端 康誉）

